



ゼニガタアザラシ観察会



写真: ゼニガタアザラシ



開催場所

襟裳岬はゼニガタアザラシの日本最大、最南端の生息地として知られています。大型連休は出産シーズンでもあり、ほほえましい親子の様子を観察することができます。その一方で、近年漁業被害が深刻になっている現状もあります。

日時: 平成31年5月3日(金) 10時～12時

場所: 襟裳岬先端展望台

参加費: 無料

※直接現地にお越しください

※双眼鏡をお持ちの方は、ご持参ください

※悪天候時は中止とします。

えりも町に生息する準絶滅危惧種の
ゼニガタアザラシと一緒に観察しましょう!!

アイヌ語de動植物⑱
～ ギョウジャニンニク～



ギョウジャニンニクは、キトビロという別名でも知られます。以前はユリ科でしたが、最近の分類ではヒガンバナ科になりました。

林の下や斜面に生育し、大きな群落になることもあります。4月～5月にかけて芽を出し、6月～7月にネギ坊主のような花が咲きます。種子以外に根からも繁殖します。

ニンニクのような強い匂いがしますが、油やコショウなどとよく合う山菜の一つです。

アイヌ語では「プクサ」と呼ばれ、アイヌの人々は、若芽を汁物に入れて食べたり、成長したものは天日で干して保存しました。

風邪が流行ると乾燥させたものを小さな袋に入れ、着物の後ろの襟に縫い付けました。強い匂いがあるため、病気の神が匂いを嫌い、近寄らないと考えられていました。

参考:

『アイヌ語で自然かんさつ図鑑』(帯広百年記念館)
『アイヌ語の動植物採集』川村正一編11

◆ 英国商船の難破 ◆

(明治15年4月18日函館新聞より)

えいこくきせん がう さ ごぜん
英国汽船メータサン号は去る十日午前
じごろさつほろけん かほろいづみぐん あぶらこまむらかいがん
八時頃札幌縣下幌泉郡の油駒村海岸へ
のり あ せんたい たいは およ よし せんちやう
乗揚げ船体は大破に及びし由なるが船長
い か えいこくじん よにんせんかくし なじん
以下英國人二十餘人船客支那人六百九十
めい むなん じやうりく ぐんやくしよけいさつしよとう
名とも無難に上陸し郡役所警察署等より
さつそくそれぞれきうちよりよしゆくとうてあて またほんこうれうじ
早速夫々救助旅宿等手当せられ又本港領事
およ たうけんちやう でんぼう たつ よ れうじ
及び當縣廳へも電報が達せしに依り領事
きうじよせん こと とうけうどうこくこうしくわん でんぼう
よりは救助船の事を東京同國公使館へ電報を
もつ せうくわい たうけん まへ いだ
以て照會せられ當縣よりは前項へ出せし
はうじやうしはじ さくやしゆつはん はこだてまる しゆつちやう
彭城氏始め昨夜出帆の函館丸にて出張
おもむ みぎ ふね めりけんほくぶえうれう
せらる 趣きなり右の船は米利堅北部英領
こう かうかう とちうどうしよ きり
バンゴル港へ航行の途中同所にて霧のため
のりあ い うわ
乗上げしならんと云ふ噂サ

訳:

英国汽船メリータサム号は10日午前8時ごろ札幌縣下幌泉郡の油駒村海岸へ乗りあげた。船体は大破におよんだが、船長と英國人20人余りと船客の支那人690名とも無事に上陸し、幌泉郡役所や警察署などにより早速それぞれ救助や宿泊先が手配された。また函館港の領事および札幌県庁へも電報をもって照会され、当県からは彭城氏をはじめ、昨夜出港した函館丸で出張される意向である。

メリータサム号はアメリカ北部のイギリス領バンゴル港へ向かっている途中、油駒村海岸にて霧が原因で乗りあげたという噂である。

4/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1	2	3	4
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	ゼニガタ アザラン 観察会	○

4月～5月の
開館カレンダー